

・ 利用回数が最も多い金融機関

1. 利用回数が最も多い金融機関

問2 最近1年間で、お宅で利用回数が最も多かった金融機関はどれですか。(は1つ)

「利用回数が最も多い」とは支店の窓口やATMの利用の他、外務職員(営業担当者)の訪問、電話やインターネットでの振込・残高照会を含め、接触する頻度が最も高いことをいいます。

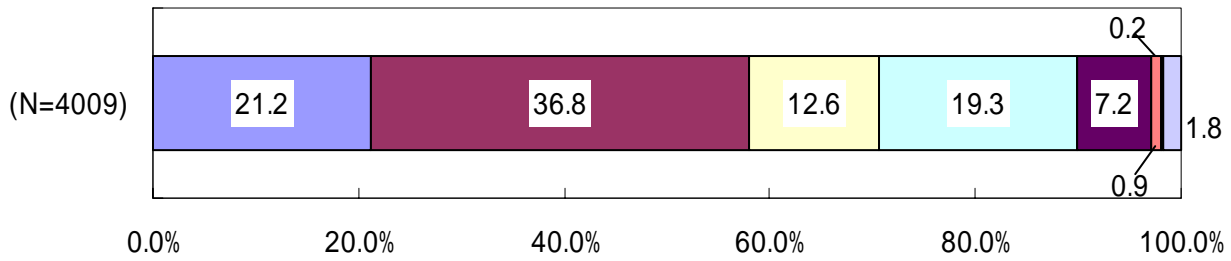
例えば、都市銀行のカードを使ってコンビニエンスストアに設置されたATM(コンビニATM)を利用した場合は、都市銀行の利用とします。

例えば、複数の都市銀行を利用している場合は、別々の金融機関としてお考えください。

(例えば、都市銀行Aの利用回数が2回、都市銀行Bが4回、地方銀行Cが5回だった場合、利用回数が最も多い金融機関は「地方銀行」となります(都市銀行Aと都市銀行Bの回数は合算しません。))

利用回数が最も多い金融機関としては、全世帯では、「地銀・第二地銀」(36.8%)が最も多く、以下、「都市銀行」(21.2%)、「郵便局」(19.3%)、「信金・信組・労金」(12.6%)の順となっている。

利用回数が最も多い金融機関 < 全世帯 >

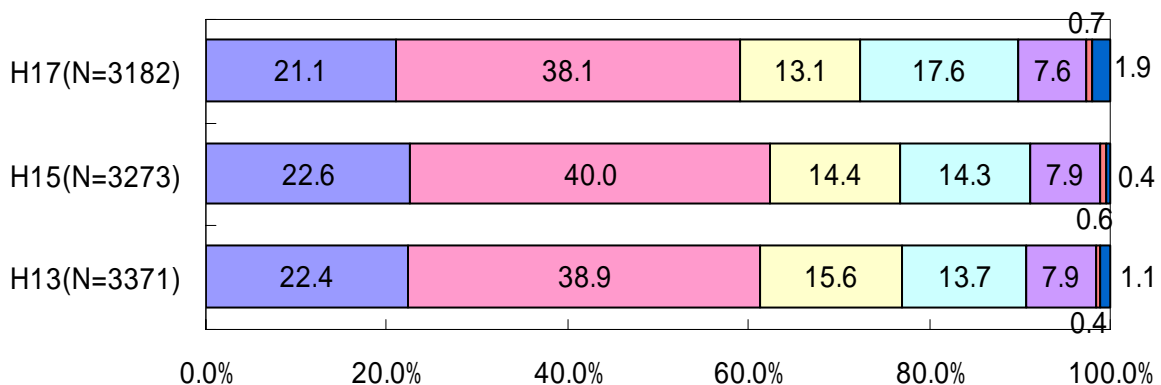


■ 都市銀行 ■ 地銀・第二地銀 □ 信金・信組・労金 □ 郵便局 ■ 農協・漁協 ■ その他 ■ 利用金融機関無し □ 不明

< 時系列比較 > (2人以上世帯)

2人以上世帯について、時系列で見ると「郵便局」(17.6%)が増加傾向、「信金・信組・労金」(13.1%)が減少傾向にある。

時系列比較 利用回数が最も多い金融機関 < 2人以上世帯 >



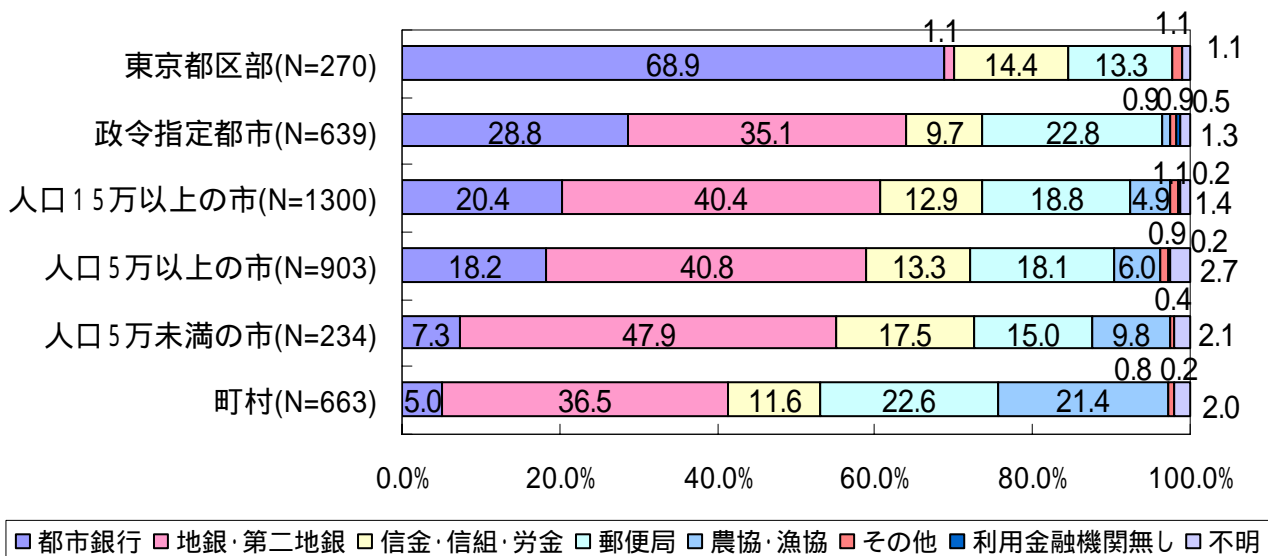
■ 都市銀行 ■ 地銀・第二地銀 □ 信金・信組・労金 □ 郵便局 ■ 農協・漁協 ■ その他 ■ 不明・なし

<都市規模別> (全世帯)

全世帯について、都市規模別にみると、「東京都区部」以外では、「地銀・第二地銀」が約4～5割と高い。一方、「東京都区部」では、「都市銀行」(68.9%)が圧倒的に高い。

また、「町村」では「農協・漁協」が相対的に高く、「都市銀行」の割合は非常に低くなっている。

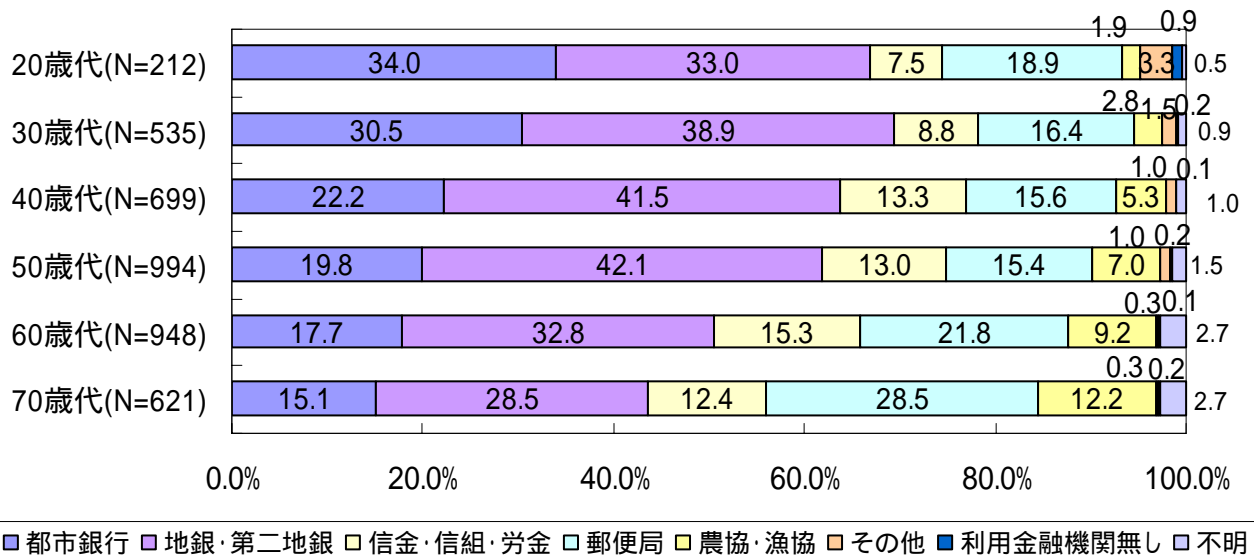
都市規模別 利用回数が最も多い金融機関<全世帯>



<世帯主年齢別> (全世帯)

全世帯について、世帯主の年齢別にみると、20歳代を除く全ての年代で「地銀・第二地銀」が3～4割と最も高くなっている。また、年代が上がるにつれ、「郵便局」「農協・漁協」の割合が高まる傾向がみられる。

世帯主年齢別 利用回数が最も多い金融機関<全世帯>



2. 利用回数が最も多い金融機関を利用する手段

問2付問1 問2で選んだ金融機関を利用する時は、どの手段を使って利用しますか。すべて選んでください。
(はいくつでも)
また、そのうち、最もよく利用する手段について、 に番号を記入してください。

利用回数が最も多い金融機関を利用する手段としては、全世帯では、「ATM(コンビニATM除く)」(77.0%)が最も多く、以下、「窓口」(63.9%)、「コンビニATM」(12.0%)、「外務職員(営業担当者)」(7.4%)の順となっている。

利用する際の手段(複数回答) <全世帯>

